

東北日日新聞

本紙は毎月千圓
郵税五圓一紙
中 廣告料一行五圓
無 印刷費
刊 休 日 石巻市
日 新 報 社 東北
日 報 社 東北

淺野氏の埋立に

小名濱側總會開催

漁業に支障の少い場合は
條件を附して認容か

既報小名濱港に近き江名濱側なる程度までの支障を伴
町大字網取海岸に今回遼ふかは實際上の問題で調査
野總一俣氏が工費十六萬圓を遂げねば判じ難く技術者
をもつて九千坪の埋立をなすの事なるが小名
貯炭場その他工業地帯を濱町としても關係深き淺野
設置する計画に對し小名濱氏の計画であり一概に反對
町では港内面積をせむらのみを唱へる譯にゆかざる
れる結果漁業上の支障を來立場にあれば支障程度の勘
すものとして既報の如く懸き場合は何等か條件を附さ
へ陳前し問題となつてゐるしめて認容する事となるの
が右に對し小名濱漁業組合ではないかと觀られてゐる
では十二日午後一時より組でもありこの總會によつ
事務所樓上に總會を開く落ちつゝのにはあるまい
事となつた埋立によつて如かか觀られてゐる

湯本驛構内

衝突事件の公判

きのふ平支部で開廷
鐵道關係の傍聴者で賑ふ

常磐線湯本驛構内南方に於會のもとに開廷被告自動車
て去る三月二十三日午前一連轉手石城郡江名町字中
時十二分ころ列車自動車衝つ瀧口平治方高岡久(二五)
突し車体を粉砕即死四名を踏切番湯本町字八仙小久四
の他重傷者を出した自動即(二三)の兩名及連轉手の
車と列車の衝突による業務辯護人平町慎恒、踏切番側
上過失傷害致死事件の第一鐵道共濟會池田兩辨護士出
回公判は八日午後〇時から延のものと開廷傍聴席は鐵
福島地方裁判所支部に於道關係傍聴者で立するの餘の
て關口判事係り武田檢事立地ない有様、型の如く關口員
より數名を超過し大激戰

裁判長から住所氏名事實の
審問あつて池田辯護士證人
として當時乗車してゐた瀧
谷辰藏並に荒井慶次郎を證
人になは裁判所からは職權
を以て右列車連轉手大樂機
關手を證人として呼び出す

數名の超過で

平は相當の激戦か

協定案は遂に破れて
候補者亂立のかたち

既報第十六回縣下警察官武
道大會は今日午前八時半
から福島市紅葉山武徳殿に
於て開催されるが平署から
出席する選手五名は本日十
一時平發で警察官その他多
數に見送られて出發した、
因に平署の選手は左の如く
である

縣下警察官

武道大會に

- ▲長小次郎(新川町)
- ▲馬目玉彌(紺屋町)
- ▲節田榮太郎(材木町)
- ▲野崎滿藏(田町)
- ▲堀江政直(番匠町)
- ▲前澤文太郎(播磨小路)
- ▲鈴木光吉(鎌田町)
- ▲鍋田三重(八幡小路)
- ▲齋藤寅吉(南町)
- ▲會川延太郎(久保町)
- ▲荒木忠夫(白銀町)
- ▲荒川淺次郎(立町)
- ▲松永友太郎(白銀町)

氷水代値下

組合總會で決定

事になり午後一時閉廷した
因に次回公判は来る十九日
である

店舖へ衝突

遊戯中の少女奇禍

石城郡好間村上好間馬場前
二二猪狩慶直(三七)は今九
日午前九時二十五分頃オ
トバイに乗り平町田町道路
を疾走中操縦を誤り田町五
十六番地飲食店岸澤岸松方
店舖に衝突し傍らに積んで
あつた空樽がくづれ落下下
に遊んでゐた同町五十七番
地新妻慎治長女愛子(六ツ)
の頭部を強打し全治三週間
深さ骨膜に達する重傷を負
はせた愛子は直ちに附近の
岡久津病院に入院加療中で
あるが生命は取りとめると

シカられて家出

去る七日午前十時半頃平
車場前を一人の不審な少年
徘徊がしてゐるのを交番巡
査が発見平署に連行取調へ
をなしたところ同人は石城
郡植田町菓子製造業榮泉堂
事最上金之助の雇人小林武
雄(一〇)で前日主人に叱ら
れた事を子供心に悲觀して
家出し平町に來たものと判
明したので平署では早速同
人の主人を呼出し説諭の上
引取らせた

△小ド口捕はる

平町字鎌田下川原六二金成
國正方慶芥夫大浦龜弥(五
山内光子長男宏之

婚 姻

▲平南五五八
雨田考平(三一)
平町八幡小路六〇
佐藤こう(二六)

警女關西

旅行便り(三)

五月五日
加茂川のせ、らぎに左橋
ならを告げ古部を後に奈
良へ着いたのは十時四十
九分でした。
思つたより汚い町を案内
人に導かれて先づ猿澤池
へ行きましたが何んだか
すべて噂に聞いたより良
いとは考へられませんでした。
水もよごれてゐるし五重
の塔なども期待に裏切ら
れました、春日神社の座
に戯れつゝ神社へ参拜し
た時は言ふに言はれぬ崇
高さと壯嚴さを感じまし
た。
次に三月堂、二月堂、東
寺などいづれも立派なの
に驚き若草山も期待以上
でした。
頂上に登つて奈良市街を
見渡した時の氣持は實に
壯快でした。
大佛堂の雄大さには流石
木造物として世界一と
なづかれ大佛の大きさに
も今更ら新しい驚異を感
しました。
かくして驚異と期待とそ
う快な奈良の見學も終り
ました。

筆洗ふ前に

まつかの夕陽が、
湯野、赤井の二山嶺を
るどつてゐる。
屋根がうす紫色にはぶつ
てゐる。
森、野、丘、田家、林、
凡てのものは、靜かにう
るほひのある息をしてゐ
るかのやうにしんみりし
てゐる。
太古の靜かな情景のそれ
のやうにながめる。
足の下からガケのそばま
ではむぎの畑、新緑波の
のやう、風がさつと吹き
すぎる。
谷をへだてた向ふ丘、
煙突が灰色の細長い姿を
夕闇にうかしてゐる。
火葬場である。
あの煙突から名狀しがた
いけぶりの色を吐き出し
てゐることに、一ツか
ら他の一ツの死骸が焼け
て灰になる。
車道の櫻並樹も緑しそ
うにうつむいてゐる。
地の底から聞えてくるや
うな、幽かに風のたより
の讀經の聲音が、どぎれ
／＼に丘からおかへと
しう然と默した。

水野虎三郎

二男峯雄儀葬送の際には遠路御會
葬被下且御鄭重なる御香奠を賜
り候段奉深謝候一々拜趨御禮申
述可答の處乍略儀紙上を以て御
禮迄如斯御座候 敬具
五月八日
平町銀治町
水野虎三郎
外親 威一同

大自然と、人生とのまん
中にうなだれて……。
高原の夕陽のやうな情景
かひた／＼と押し迫つて
ゐる。
夜がくる……夜が。
やがて朝もくる。
大衆の群れは、騒ぐ、わ
めく、泣く、踊る、狂ふ
劍、毒、あらゆる争闘、
そして疲れて眠る。
亦、清新な朝に蘇る。
亂舞、狂奔、そこから始
まるのである。
人生とはこれなるか。
それとも、何かあるのか
俺は、自己のみの殿堂に
安置せる、自己といふ偶
像にき拜してゐるか。
それとも一つの方法では
ある……が。
「忘」といふ一字を地上
に残して行衛不明、目下
搜索中の老子といふ人を
くつてゐる哲人が、我慢
が足りなかつたかな……。
こゝまで考へて立ち止る
新しい牢格子のやうな
門が、眼の前にある。
それが俺の小家である。

五月八日寫眞替り

日活・松竹・ユニヴァーサル名畫

▲松竹現代派大作品

原作 加藤武雄・監督 重宗 務
婦人俱樂部所載 岩田祐吉・八雲惠美子主演

久遠の像

助演・小櫻葉子・奈良真養・林千歳
戀人をモデルとして完成し得なかつた生涯の大作を新たにその娘をモデルとして遂に完成するその間に涙ぐましい父性愛が凝えてまいります。

ユニヴァーサル・カール・レムレン提供

原作 小カール・レムレン氏

監督 ナット・ロツズ氏

大學生活

第一篇 (球技) 第二篇 (女子部籠球戦)

日活超々大作映畫

原案 入尋 鯨・監督 佛生寺彌作

澤田 清・櫻井京子 主演

千丈の紅戀

助演・川上彌生・高瀬實・實川延二郎
宗三郎とお道はあこがれの江戸へ出たが大公方專政時代の暴政に苦しむそこに
お柳と云ふ女盜の出現に物語りは興味を添へて行きます

ユニヴァーサルの 大學生活 來週スキー競技

ホッケー戦

高級常設 平 館

この季節こそ最も寫眞のよくされる時です

大野寫眞館

何時でも出張撮影 平町仲田町 應じます

日本浪界の神童と天才兒來る

不思議の美音調子是非御來聴を乞ふ

日本一の君團子 當年十一歳

日本一の桃太郎 當年十一歳

補導浪界の元老

東洋軒雷右衛門師

外大家數名出演

明五月九日

午後五時煙火合圖開場

聚樂館

到所に前賣割引券を發賣致し居り來

後援 東北日日新聞社 警備毎日新聞社 警備新報社 警備時報社 東京浪早總事務所

毎度有難う

お茶菓子にはドーゾ

染野のお團子を召上り下さい

平町新田町三益隣り

名代だんご 染野餅菓子店

電話(呼出)三〇四

専門内科一般

内科ハ何デモ診療致シマス
呼吸器病バカリデアハアリマセン

平町南町六五

川井内科診療所

醫學士 川井重之
女醫 川井安子
電話七二二番

アイギ

セヒロ三ツ組
サージ通學服
ゴム引マン
正札堂

正札堂

平町停車場通り
電話四三六番

新學期!!!

學生靴大賣出し

自製靴...お買ひ上げに...粗品呈上
無駄な宣傳や手数を省き
絶対責任...誠實廉賣!

弊店の特色 一、原精精選たる堅牢無比
二、特別なる製法と卓越せる型
三、御名前が記入できまます様考案
四、靴一代底金ウチ替代金無料

平町 大塚支店 製靴部へ
電話七〇二番

初夏サロンの新装

四月拾日ヨリ

樽詰生ビール並ニタンク入ソーダ
水の用意が出来ました
ソーダファンテン設備完成
カップ一杯 十五錢
ジョッキ一杯 五十錢
ドーゾ散歩がてらに御來店を

サロン

美味で さもちよいい
サロンの公休日は毎月第三日曜
電話二五二番
平町字田町通り

春

に春の年〇三九一

さしはさふ

取種各モトマ水防
すまりあてへ揃

回背	廣	一、〇〇〇
レンコート	七、〇〇〇	ヨリ
モンビ	七、〇〇〇	ヨリ
デリ	三、〇〇〇	ヨリ
パーバリー	八、〇〇〇	ヨリ
ハ、	八、〇〇〇	ヨリ

なかや洋服店
平二 電203

高久病院

電話五一三番

内科、小兒科	醫學士 高久 忠
外科、花柳病科	新瀉醫學士 赤羽 清
耳鼻咽喉科	藥劑士 佐竹 菊雄
レントゲン科	

別府温泉より生れた

靈藥

溫泉エキス

定價 壹圓 五拾錢

此外用溫泉エキスは今迄且つて世の中に無かつた
神秘的の妙藥であります連續使用しまして
も副作用がありませんの効力が確實な事とは他
藥品のひではありません

△萬病に靈効ある別府礦水
定價 中瓶一圓 徳用一升瓶三圓

一手販賣店 山野邊藥局
一、藥事衛生の相談は弊局へ
一、仁丹體温計フエバー體温計特約店